

本物。品訪
鹿児島県 特産 特探

2013かごしまの新特産品コンクール 鹿児島県観光連盟会長賞
Somekan
「染貫®」

白色の表面に貫入と呼ばれる細かなひびが入っているのが特徴の白薩摩。その貫入に色を入れることで、白薩摩の新たな魅力が引き出されています。

鹿児島市の御茶碗屋つきの虫の新納虫太郎さんにお話を伺いました。

制作のきっかけは

貫入とは、陶器が焼かれた後の冷えていく過程で、陶器本体の素地と釉薬の収縮度の違いにより釉薬がひびのような状態になって固まる現象です。

貫入に色を入れる技法は、県外の産地でも使われています。白薩摩では生地の美しい白を尊重するためか、貫入に色を入れることは一般的には行われませんでした。

しかし、白薩摩は使っているうちに茶渋などが貫入に入り汚れが目立ってきます。では、始めから色を入れておけば汚れもつきにくく長く使っていただけではないかと考えたのがきっかけです。

工夫した点を教えてください

元々あった技法ではありませんが、白薩摩の微細貫入をより微細に、器全体にきれいに安定して作ることがまだできないので、その点はこれからも工夫が必要だと思っています。

貫入は、釉薬の厚さでその模様の出方が異なります。器一つ一つ、また同じ器でも場所によって釉薬の厚さが違い、きれいで細かい貫入に仕上がったり、大きざや形にばらつきがあったりとさまざまです。思いがけずかつこいい味のある模様がでたりもしておもしろいのですが、安定した模様の器を作るためには釉薬の厚さをどの程度にするかなど、これから試行錯誤していく必要があります。

また、藍と赤の2色で染めていますが、食べる物を盛る器です。で化学染料ではなく自然のものを使っているんですよ。

今後の抱負を聞かせてください

現在、デザイナーや木工家の方と共同の作品作りを試みていて、陶芸家とは異なる感性や作品に色々と刺激を受けています。

12月の薩摩焼フェスタでは、イタリア料理のシェフやテーブルコーディネーターと検討を重ね、多くの窯元が新しい薩摩焼の Pasta皿などを発表します。

薩摩焼の伝統を残しながらも、鹿児島らしさが見える新たな薩摩焼に挑戦し、また、器と料理の組み合わせを提案したりして、皆さんに身近で気軽に使っていたいけるような器を作っていきたいと思っています。



さまざまな器が並ぶギャラリー。釉もんと染貫を組み合わせたお土産にぴったりなカップ(手前右)も。



「カッコイイでしょ。バスタ皿になりますよ」と笑顔で話す新納さん。



somekan -染貫®-
plate(縦270mm×横270mm) 価格 10,800円(税込)
bowl(直径150mm×高さ50mm) 価格 2,700円(税込)
bean's Bowl(直径75mm×高さ30mm) 価格 1,080円(税込)
rock cup(直径80mm×高さ75mm) 価格 3,672円(税込)

プレゼントコーナー

somekan -染貫®-の
カップを2名様にプレゼント。

応募締切 平成26年12月26日(金)

応募方法 ハガキ、FAXまたは電子メールに

①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想 ②郵便番号

③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号を記入のうえ、下記までお送りください。

ハガキ宛先 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」

FAX 099(286)2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

メール h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用しません。

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

広告